

# 第3学年2組 社会科学学習指導案

指導者 藤 木 雄 飛

## 単元 「未来につなげよう！わたしたちの福岡市」

### 本単元の目標

- ◎ 「福岡市の将来計画プロジェクト」に参加することを通して、これからの福岡市における課題を把握し、その解決のために、福岡市の移り変わりの様子（人口増加に伴う商業を中心としたまちづくり）を基に、交通、土地利用、施設の視点から考え、提案することができる。

### 本単元の考え方

- 本単元では、これまでの市の移り変わりを捉え、これからの市の発展についての考えを提案することをねらいとしている。具体的には、①福岡市が今後も魅力あるまちであるためのアイデアを提案するという課題を設定し、見学やインタビュー、資料を通して、土地利用や交通、施設、人口の視点から市の移り変わりを捉え、自分の考えを提案すること、②自分たちも福岡市に関わる一人として、市役所の方に向けて福岡市がさらに魅力あふれる都市へと発展していくためのアイデアを考えること、③福岡市の将来計画プロジェクトに参加することを通して、これからも地域の一員として福岡市に関心をもって関わろうとしていくことなどである。本単元では、これからの福岡市を考えることで地域の一員としての自覚を養う上で価値がある。
- 本学級の子供たちは、福岡市の様子の学習で、福岡市は県の中心的都市として、交通網が発達し、人口がとて多く自然も豊かな都市であることを捉えることができた。一方で、福岡市が今後もどのように発展していくとよいのかを考えるまでに至っていない。そこで、これまでの福岡市の移り変わりを基に今後の福岡市の発展を考えることができるようにする。このことは、社会的事象を多角的に考察する力を育む上で価値がある。
- 本単元の導入段階では、福岡市がもっと住みよいまちになるにはどうすればよいのかという単元の目標を設定すると想定する。そのために、福岡市の将来予測人口の資料と市のプロジェクトを紹介する。そして展開段階では、人口、交通、土地利用、主な施設の変遷を追究していくことで市の移り変わりや特色を捉えることができるようにする。そのために、現在の天神の様子を見学したり、主に1970年代、1990年代、2010年代の3つの時期の福岡市の様子を調べたりするようにする。最後に終末段階では、市の将来計画プロジェクトに対して自分の考えを提案することで、地域の一員として自覚することができると思う。

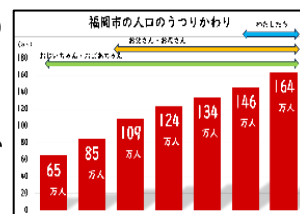
### 学びの文脈

#### 《主に社会的・実用的側面》

市のプロジェクトに対して提案するために国語科では考えを相手に分かりやすく伝えるための方法を学び、そのことを生かして、実際に提案することで有用性を感じることでできる文脈をつくっていく。

### 単元計画（全11時間）

単元における活動・内容・手立て	
1	市が進める「福岡市の将来計画プロジェクト」を基に、学習課題について話し合う。 2
	○ 福岡市の発展について関心をもつこと
※	市役所の方による「福岡市の将来計画プロジェクト」について説明する場の設定
	福岡市を今よりもっと魅力あるまちにするにはどうすればよいだろうか。考えを提案しよう。
2	市の発展を考えていくための福岡市の移り変わりについて話し合う。 6
	(1) 変わりゆく天神のまちを見学する。 ①
	○ 昔も今も大切に未来のまちを創造しようとしていることに気付くこと
	(2) 3つの時期の人口、交通、土地利用、施設の変化について調べる。④
	○ 福岡市のまちと人々の暮らしの移り変わりを捉え、提案書に生かすこと
※	3つの時期の人口の推移、市域や交通網、主な施設に関する資料の提示
	(3) 市民が市に望んでいることを調べる。①+課外
	○ 市民が今後の福岡市に望むことを捉えること
※	家族へのインタビューの実施や市民の意識調査をまとめた資料の提示
	今の福岡市は市民の願いをかなえながら都市として発展して人口も増加してきた。10年後もさらに魅力ある都市になるためのアイデアについて提案しよう。
3	「福岡市の将来計画プロジェクト」に向けた考えをプレゼンにして話し合い、提案する。 2/3 本時
	○ 福岡市をよりよいまちにするためには、複数の立場を意識して福岡に合った具体的なアイデアを構想する必要があることに気付くこと
※	GTによる講評をもらったVTRの提示






**本單元における社会的な見方・考え方**

福岡市がさらに魅力あるまちに発展していくためのあるべき姿について、人口推移や交通、土地利用、施設の時期による変化に着目して市の移り変わりや市の特色を捉えたことを基に、未来志向の枠組みで複数の立場から多角的に構想すること

**本時の目標**

- 福岡市がさらに魅力あるまちに発展していくために、交通や施設、土地利用に着目して市の移り変わりを追究して捉えた福岡市の特色や課題を基に、福岡市にいる様々な立場の人を意識して提案書を見直すことができる。

**本時の学習過程 (10/11 時)**

学習活動・内容・予想される子供の反応	手立て
<p><b>1 事前に送った提案書に対して GT から講評をもらったことを基に、提案内容を見直していくという本時のめあてについて話し合う。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分の提案書の内容を見直すという本時の見通しをもつこと                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 福岡市がもっと魅力あるまちになるための提案をしたいな。</li> <li>・ 前は 30 点くらいだったから 80 点以上は目指したいな。</li> <li>・ 本村さんからアドバイスを受けてもっとよい提案を作りたいな。</li> </ul> </li> </ul> <p>市役所の方の話を聞いて、将来計画プロジェクトへのていあん内容を見直そう。</p>	<p>※ 本時のめあてを意識することができるように、市役所の GT から提案書の講評 VTR をもらっていることを紹介する。</p>
<p><b>2 どのように提案書を見直すとよいか話し合う。</b></p> <p>(1) GT の講評を受けて自分たちの提案を見直す視点について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ よりよい提案をするためには立場を明確にして考えるとよいことや福岡市の移り変わりを参考にしながら考えるとよいと気付くこと                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 誰にとってよいのかという部分が抜けていたな。</li> <li>・ 「みんな」ではなくもっと具体的に考えることが大切だな。</li> <li>・ 市の移り変わりで学んだこととつないで考えた方がよいみたいだな。</li> </ul> </li> </ul> <p>(2) 提案を見直すための必要な資料について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 立場を明確にした提案にするために家族や地域の人にインタビューしたときのカードやこれまでの市の移り変わりの資料が必要だと気付くこと                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・ もっと市民の声や観光で訪れている人が何を望んでいるのかが分かる資料が必要だな。</li> <li>・ 自分が家族にインタビューしたことやこれまでの福岡市の移り変わりでの資料が使いそうだな。</li> </ul> </li> </ul>	<p>※ 提案書の内容をよりよいものにつくりかえることができるように、GT からの講評で強く共感や納得したことについて交流する場を設定する。</p> <p>※ 提案書を見直すことができるように、子供の求めに応じて、観光客や市民の声などの資料を提示する。</p>
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 20%;">  <p>福岡市がもっと魅力あるまちになるにはどうすべきか。</p> </div> <div style="width: 20%; border: 1px solid gray; padding: 5px;"> <p>○誰にとってプラスか ○これまでのうつり変わりとの共通点 ○他の人の求め これらのことも考えて</p> </div> <div style="width: 20%;">  <p>インタビューしたことやこれまでの資料が使えるかもしれないな。</p> </div> <div style="width: 20%;">  <p>インタビューしたことを理由に付け加えたら、より「誰にとって」を考えた提案に近付いたな。</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> <p><b>根拠とする資料</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市の移り変わり</li> <li>・インタビュー</li> <li>・市民の声</li> </ul> <p><b>GT</b></p> </div> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> <p><b>提案内容の見直し</b></p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p><b>【ビジョン】</b> 体が不自由な人や高齢者の方にも楽しい福岡市に！</p> <p><b>【アイデア】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スロープを増やす</li> <li>・エレベーターを増やす</li> </ul> <p><b>【理由】</b> 昔に比べて人口が増えて高齢者も増えているから</p> </div> <div style="width: 40%; border: 1px solid gray; padding: 5px;"> <p>将来の福岡市へのぼくわたしのアイデア <span style="float: right;">みんなで作る 福岡市の将来計画 アドレス</span></p> <p>3年2組 名前( )</p> <p><b>ビジョン</b> 体が不自由な人や高齢者の方にも楽しく思える福岡市にしたい。</p> <p><b>アイデア</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地下鉄の入口にエスカレーターを増やす。</li> <li>・今は階段が多く、スロープなどが少ないのでもっとスロープをもっと増やしていく。</li> <li>・子連れの方もいっしょでエレベーターや、エスカレーターも増やしていく。</li> </ul> <p><b>理由</b></p> <p>今、昔に比べて人口がふえ高齢者もふえてきている。また、福岡市は子育て世代も多いから、ベビーカーでも動きやすいいろいろな場所に行ける。インタビューしたお母さんもエレベーターがないと不便だと言っていたから。</p> </div> </div>	
<p><b>3 見直しポイントを基に提案書を作りかえる。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 次時で提案を完成させる見通しをもち、自分たちも福岡市の一員であることに気付くこと                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市役所の方がいつも市民や市全体のことを考えてくれていてありがたいな。</li> <li>・ 提案書を仕上げ、福岡市の将来計画プロジェクトに考えを届けたいな。</li> </ul> </li> </ul>	<p>※ 地域の一員としての自覚を育むことができるように GT からの言葉を紹介する。</p>

**【本時求める子供の姿】**

☆ 福岡市がもっと魅力的なまちになるためには、多くの人にとってプラスなのか、これまでの福岡市がどのように発展してきたのかを踏まえて考えることが大切だな。未来の福岡市のために考え続けたいな。